



2016年9月8日
第45回大会

報告承認事項

《一般経過報告》

第25期後半期の 活動全般について



I. 日本の自動車産業基盤の維持・強化



○環境変化をとらえた業種横断的な課題解決の推進

**付加価値の「WIN-WIN 最適循環運動」をキックオフ。
自動車総連内、および各関係団体への理解活動を展開。**

自動車総連 2016年総合生活改善の取り組み “付加価値”の

WIN-WIN 最適循環運動!

—自動車産業全体の底上げをめざす

現状

国内市場の縮小
国内生産の減少

グループを越えた取引拡大
グローバル競争の激化

課題

企業収益のバラつき
二極化
(企業規模の大小、業種の違い、海外展開できる・できない)

労働条件の格差拡大

裾野の広い自動車産業の基盤を支えている中堅・中小企業の
真の意味で経済や産業の持続的な発展が可能
そのためには、「労働条件の改善」と「現場力の底上げ」の両面からの

自動車産業の競争力を、企業規模の大小に関わらず
付加価値を産業のバリューチェーンに循環させる「最適

“付加価値”の
WIN-WIN 最適循環運動 のめざす姿

「最適循環運動」とは

活動のポイント【3本柱】

- ①付加価値の最大化
→各職種が生み出す付加価値を最大化する努力を積み重ねる
- ②付加価値の適正評価
→取引相手が生み出した付加価値を適正に評価することを大切にする
- ③協力強化による健全な改善
→企業間・業種間での協力を強化し、健全な改善を推し進めていく

左記の3本柱を切り口にして、付加価値を自動車産業のバリューチェーンに循環させる運動
(運動の期間：2016—2018年の3年間)

WIN-WINとは

お客様の満足

組合員・家族の
幸せ

経済・社会の
発展

産業・企業の
繁栄

自動車総連に集う一人ひとりが、自ら何ができるかを
考えて取り組み、社会的なうねりをつくり出していく

現場力の底上げ

自らの能力の範囲内による生産性や品質・サービスの向上・技術革新、新たなチャレンジ・挑戦に取り組む仲間への支援など

自動車産業全体の総合力向上と、安定した質の高い雇用の創出に向けて、前に進もう!

2016年1月14日発行 自動車総連 東京都港区高輪4-1-21 View+well Square(ビューウェルスクエア)

I. 日本の自動車産業基盤の維持・強化



○環境変化をとらえた業種横断的な課題解決の推進

「WIN-WIN 最適循環運動」に関して、経営者団体（自工会・部工会・自販連・陸送協会）との産業労使会議にて議論し、課題意識への賛同と今後の取り組み検討への協力を確認。

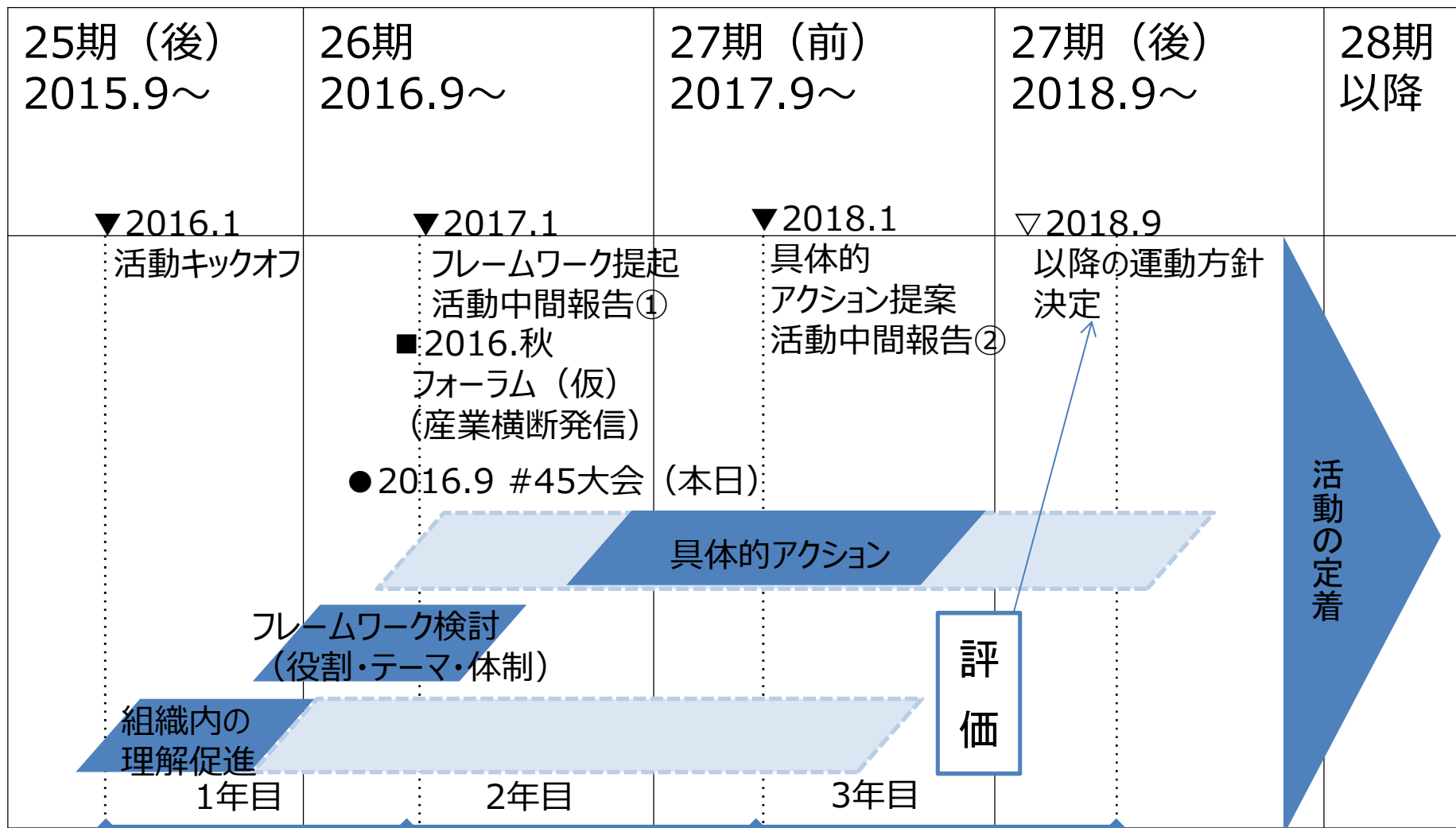


I. 日本の自動車産業基盤の維持・強化



○環境変化をとらえた業種横断的な課題解決の推進

「WIN-WIN 最適循環運動」 3か年の流れ





中執

中央最適循環委員会

TFからの提案内容について対応可否を判断。決定内容は労連版最適循環委員会及び業種別部会にフィードバック

新設 (26期9月~)

TF検討結果の上程

タスクフォース (TF)

<構成メンバーの想定> 12名程度
リーダー・サブリーダー：副会長 (2名)
メンバー：各部会代表者 (各2~3名程度)
事務局：本部事務局長、最適循環PTメンバー

労連版最適循環委員会

※推進責任者設定

中央最適循環委員会からの諮問を受け、業種別部会より提起された個別テーマの確認及び横断テーマについて論議
⇒中央最適循環委員会上程

業種別部会から課題提起

業種別テーマについて掘り下げ検討、TFに課題提起。中央最適循環委員会にて確認された事項の推進

業種別部会

業種別部会				
メーカー部会	車体・部品部会	販売部会	輸送部会	一般部会



自動車総連